

レンジャーになって4年目を迎えた今年度は、調査、登山道の補修・管理、地域との協働、市内小学生への自然体験学習や森の子コレンジャーなどの環境教育事業と多岐にわたる活動に、新たにアニマルサンクチュアリ活動も加わりました。その中でも私たちの活動の柱となる地域との協働作業では、歴史や文化、昔の森や森と人の関わり、森に点在する石碑や祠のいわれなど、森を調査しているだけでは見えてこない重要なことを地域の皆さんから教えていただきました。

この協働がなければ、自然と人が共に生きてきたあきる野の素晴らしさを知ることはできなかつたでしょうし、地域との絆も生まれなかつたと思っています。

昨年11月には、これまでの活動で関わりのあつた地域の方と協働でツアーを実施しました。

1つは健脚者向けの自然と歴史を知る登山ツアーです。地域の歴史を独学で研究しているサポートレンジャーの鈴木さんが石碑にまつわる謎をひも解き、レンジャーが自然を解説しました。もう1つは、森の現状

を知る森歩きと炭焼き作業体験ツアー。レンジャーが見てきた森や野生動物のことを伝え、次世代へ自然を残すためにさまざまな取組（竹炭や竹酢液の製造・販売、広葉樹の育苗・植樹、森の手入れ、川の水質調査など）を続ける「自然を昔に戻す会」の皆さんが、あきる野に生きる人の姿を伝えてくれました。

ツアーを実施するにあたっては、ルートの実踏だけでなくプログラムも共にデザインし、準備を分担しながら夏ごろからじっくりと進めました。参加者に“私も自然や地域のために何かできることをしたい！”と思わせるツアーとなったのは、こうした地域の協力があつたからです。

今後も、地道な活動を続ける皆さんが地域の宝だということを多くの方に気付いてもらい、宝である皆さんには素晴らしい活動と認められているという意識が力となるような協働ツアーを企画します。それが、森と人のより良い関係を築くためにレンジャーとして活動してきた私の使命だと信じて続けていきます。

(加瀬澤)



(11月10日) 鈴木さんと歩く謎のグミ御前への道ツアー



(11月17日) 森と人とけものこと自然を昔に戻す会を訪ねてツアー